

「おはよう」から始めよう！

～平成16年度「あいさつ・声かけ運動」の展開～

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭・学校・地域で、大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。青少年が、将来への夢や希望をもって、いきいきと成長していくためには、地域社会の大人たちが、学校や家庭との連携を図りながら、支援していく必要があります。

青少年育成茨城県民会議では、大好きいばらき県民会議や県と連携を図って、県内全域で「あいさつ・声かけ運動」の推進に努めてきました。

平成16年度に取り組みられた2つの事例と「あいさつ・声かけ運動強調月間」の取り組みを紹介します。

神栖町青少年相談員連絡協議会

「あいさつ・声かけ運動」

神栖町では、平成15年度から全小中学校で、青少年相談員による「あいさつ・声かけ運動」が行われております。青少年相談員を地域別に8班に分けて、各小・中・高等学校の校門前等で、児童生徒や教員と一緒に「あいさつ・声かけ運動」を実践しています。神栖高校では、保護者も参加しています。

参加している青少年相談員の方からは「明るい笑顔で自分からあいさつしてくれる子どもが増えてきた」といった声が聞かれています。



石岡市杉並小学校区「あいさつ運動」

青少年を育てる石岡市民の会杉並支部では、杉並小学校と協力して「あいさつ運動」を展開しました。実施にあたっては、学区内の全家庭にチラシを配付したり、歩道橋に横断幕を設置するなどして広報にあたりとともに、子どもたちの登下校時を中心に、立哨指導の場所や自宅前などで「あいさつ運動」を実践しました。

子どもたちからは「皆が声をかけてくれるので顔見知りになり安心して登下校できてうれしい」といった

声が聞かれています。



あいさつ声かけ運動強調月間の取り組み

11月は、「いばらき教育月間」であるとともに、「あいさつ・声かけ運動強調月間」でした。県内の各地域で、あいさつ・声かけ運動や高校生さわやかマナーアップキャンペーンなど様々な取り組みがなされました。

特に、水戸駅、新鉾田駅、土浦駅、下館駅では、高校生や青少年相談員なども参加して、「あいさつ・声かけ運動」と「高校生さわやかマナーアップキャンペーン」が同時に実施されました。



平成17年度の展開

この「あいさつ・声かけ運動」を通して、地域の中で、大人同士、大人と子どもが顔見知りになり、地域が明るくなるとともに、地域の防犯などにも大きな効果があったとの報告をいただきました。

こうしたことから、平成17年度も引き続き「あいさつ・声かけ運動」を展開していきます。家庭、学校、地域、職場などで、積極的にあいさつや声かけを実践していきましょう。

広報用のチラシや実践事例集の必要な方は、青少年育成茨城県民会議に連絡してください。